

林業

～ 東海3県の素材生産量は増加傾向 ～

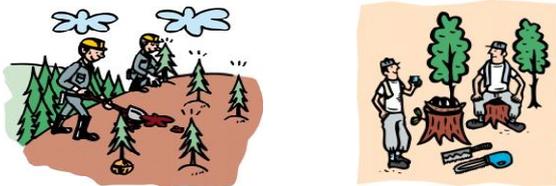
森林は、木材の生産だけでなく、降った雨が地面に浸透することによる洪水や濁水の防止、二酸化炭素の吸収などによる地球温暖化の防止、生物の多様性の保全など、多くの役割があります。

林業産出額の全国順位（令和4年）

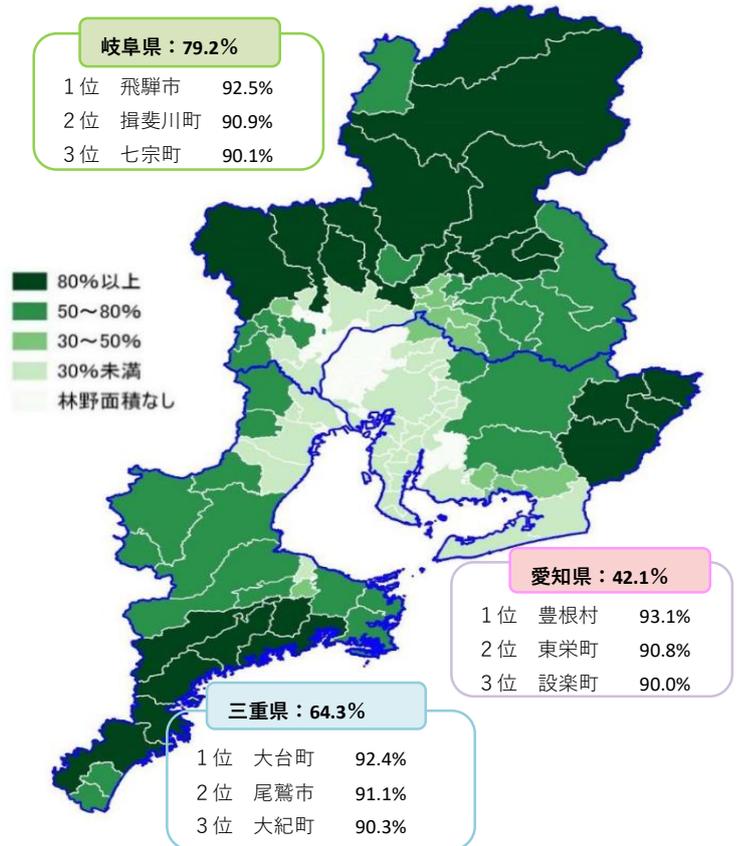
単位：億円

順位	都道府県	林業産出額	うちきのこ類
1	(1) 長野	574	487
2	(3) 北海道	480	79
3	(2) 新潟	440	418
4	(4) 宮崎	336	50
5	(6) 岩手	257	49
6	(5) 大分	214	52
7	(8) 秋田	209	42
8	(7) 熊本	182	20
9	(12) 福島	139	37
10	(10) 福岡	136	106
...			
17	(26) 三重	106	52
19	(17) 岐阜	98	27
33	(37) 愛知	32	9

資料：農林水産省統計部『林業産出額』
注：（ ）内は前年順位である。

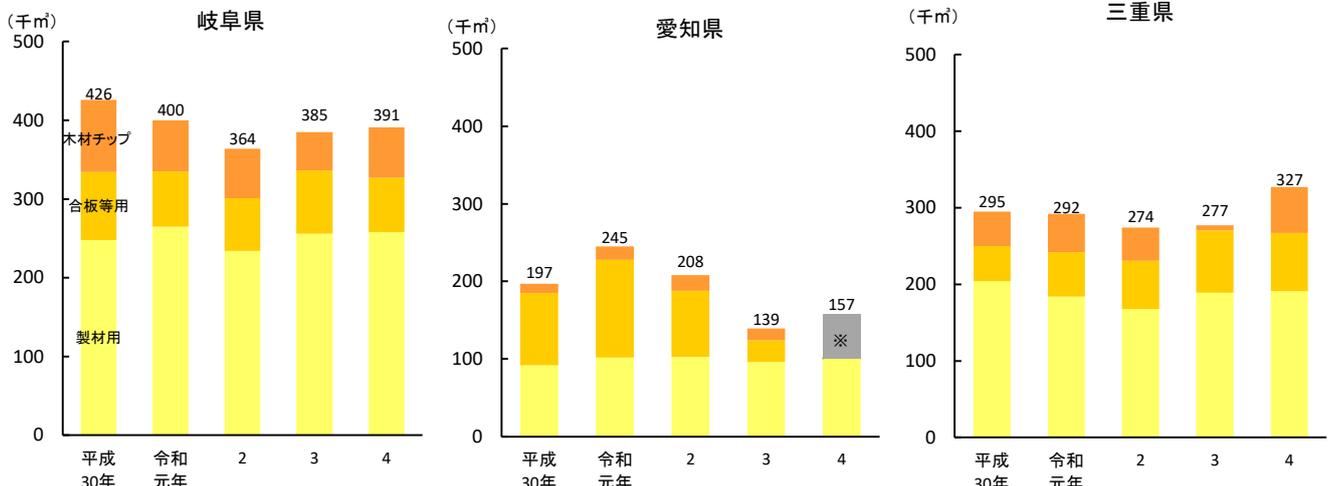


東海3県の市町村別林野率（令和2年）



資料：農林水産省統計部『農林業センサス』

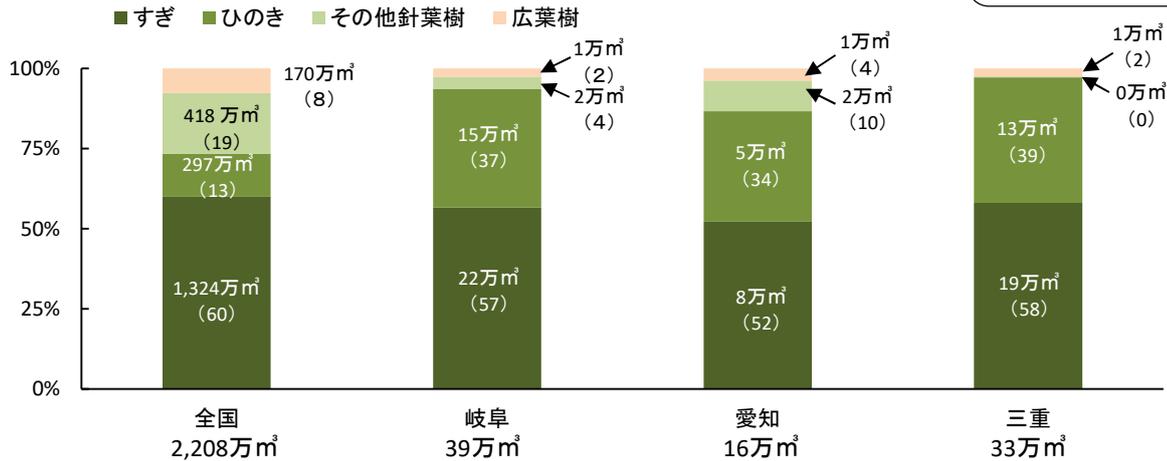
県別の主要部門別素材生産量の動き



資料：農林水産省統計部『木材需給報告書』

注：※は、個人または法人等に関する秘密を保護するため、内訳の統計数値を公表しないもの。

全国及び東海3県の樹種別素材生産量の内訳（令和4年）



全国と比べると東海3県はひのきの割合が高いのね。

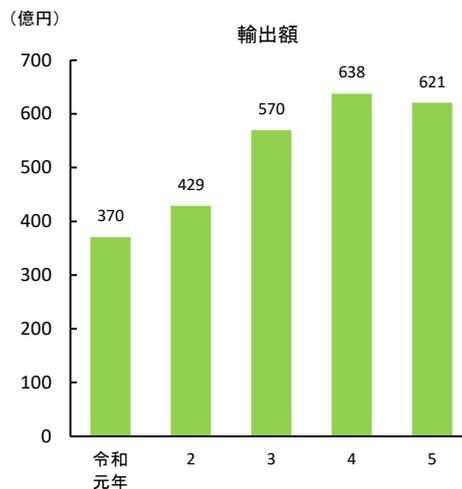
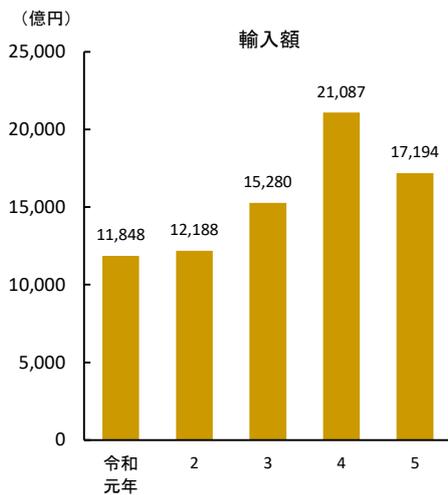


資料：農林水産省統計部『木材需給報告書』

注：1 その他針葉樹とは、あかまつ、くろまつ、からまつ、えぞまつ、とどまつ、その他針葉樹の合計である。

注：2 四捨五入により、計が100%にならない場合がある。

林産物の輸出入の動き



令和5年の輸入金額で割合が多い品目は木材チップで主な輸入国はベトナム、輸出では丸太が輸出額の約三分の一を占めていて、主な輸出国は中国となっているわ。



資料：農林水産省『農林水産物輸出入統計』

令和4年東海3県の主な特用林産物の生産量

岐阜県

しいたけ	2,373.2 t (全国13位)
なめこ	462.8 t (全国9位)
木炭	1,031.1 t (全国3位)
木酢液	18,232 ℓ (全国7位)
薪(まき)	5,174.4 m³ (全国6位)

三重県

しいたけ	1,008.0 t (全国25位)
なめこ	925.9 t (全国8位)
たけのこ	450.0 t (全国9位)

「特用林産物」とは、一般に用いられる木材を除き、森林原野を起源とする生産物の総称で、主なものとしてはきのこ類、山菜類、木炭、薪(まき)、うるしや竹材など。

愛知県

しいたけ	750.0 t (全国30位)
木炭	46.4 t (全国12位)
木酢液	608 ℓ (全国19位)
薪(まき)	2,149.0 m³ (全国11位)

資料：農林水産省『特用林産物生産統計』

注：1 薪の単位は積層立方メートル

注：2 秘匿措置の品目については記載していない。